



もしものときは、「子の迷惑になりたくない」と思っている親世代がいる一方、「親の思いや希望をできるだけ叶えたい」と思っている子世代も多いのです。

また、親と子の思いが同じでも、その他の家族や友人、医療・介護従事者など周りの人に自分の思いが伝わっていなかったために、思う通りにいかない場合もあります。

気持ちも状況によって変わります。一度伝えたら終わりではなく、気持ちが変わったらその都度、繰り返し話しあいましょう。



【作成】 新潟市在宅医療・介護連携推進協議会

【発行】 新潟市保健衛生部地域医療推進課

もしものときのために

## 考えてみませんか？ 話しあってみませんか？

今のこと・将来のこと  
自分のこと・大切な人のこと



あなたは、もしものことを考えたことがありますか？

人は、いつ命に関わる大きな病気やケガをするかわかりません。しかし、もしものときに受けたい医療や介護について、自分で考えたり、家族と話しあったことがある人は少ないようです。もしものときに慌てないように、元気な時から、家族や大切な人と思いを共有しておくことは大切です。

このシートをきっかけに、自分で、また、家族や友人、大切な人と考え、繰り返し話しあってみませんか？

# もし、こんな時は…?

✿もし、将来生きることができる時間が限られてきた時、大切にしたいことはなに？

✿もし、最期を迎えることになった時、どこで、だれと迎えたい？

- ☆家族や友人と過ごしたい？
- ☆家族の負担になりたくない？
- ☆少しでも長く生きたい？
- ☆好きなことをしたい？

✿もし、希望を伝えることができなくなった時、気持ちを代弁してくれそうな人はだれ？

✿もし、将来介護や医療ケアが必要になった時、どこで、だれに、お願いしたい？

✿もしもの時、受けたくない医療や処置ってなんだろう？

- ☆自宅？ 施設？ 病院？
- ☆家族？ 友人？ 介護職員？
- ☆訪問看護師？
- ☆かかりつけの医師？

